



令和5.2月392号

【つくし園】

〒791-8041

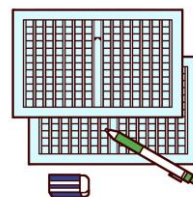
松山市北吉田町

77-34

TEL(089)951-5331

FAX(089)951-5348

17作目



支援係長 阿部 秀人

つくし園に入職して17年が経過しました。入職した時は、『速水もこみち』に似ていると言われていた私ですが、月日は早いもので去年40歳になりました。今では息子から「ぶひー」と言われる始末。自転車が悪れたことでいつの間にか止めていた自転車通勤。体が重たくなると余計に動かなくなることでより一層肉が付く悪循環。このままではいけないと思い、毎日2〜4杯飲んでたコーヒー（カフェオレです）を控え、緑茶に変えてみました。体重にはあまり反映はされていませんが、身体の中はきつとよくなっていると自分に言い聞かせています。

前置きが長くなってしまいましたが、今回は、入職してから毎年書いている園だよりの巻頭分を振り返ってみたいと思います。

令和4年に書かせて頂いた文章は『コロナ禍の影響』でした。昨年の6月に書かせて頂いた巻頭分なので、ご覧になられた方には、まだ覚えがあるのではないのでしょうか。コロナ禍で材料費の値上がりにより、つくし園の木工品も苦渋の決断で値上げをするといったことでした。そんな中でも、今年も千支の置物はご愛顧頂きたくさん販売することが出来ありがとうございました。

令和3年に書いた文章は、『漢字の書き方』でした。小学校2年生で習う『書』と『方』の書き順について書かせて頂きました。気を付けないといけないとわかっていても今でも、間違った書き順をしていると思います。

令和2年は、『食品ロス削減』についての文章でした。息子も大きくなり、もぐもぐチャレシソジへの興味は以前に比べると減っていますが、ガチャポンを回すときはやはり嬉しそうにしています。

令和元年は、『仮面ライダー』、平成に遡ると、29年が『木工作業を担当して』、28年が『大河』、27年が『経験の賜物』、26年が『サイクリング』、25年・・・と納まらないので省略させていただきます。

毎年書いているつくし園だよりの巻頭分ですが、振り返ってみると子供が生まれてからは、子供との思い出を書かせて頂くことが多いように思えます。巻頭分のネタに出来るよう、これから子供との楽しい思い出を増やしていきたいと思っています。



2月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

・18日土曜日は開園日です。

2月の行事予定

- ・2日（木）・・・内科検診
- ・10日（金）・・・誕生会
- ・24日（金）・・・避難訓練
- ・28日（火）・・・月末大掃除



園庭に雪

1月24日、10年に一度の最強寒波が来るとの予報通り午前中に暴風雪警報が松山市にも発令され、つくし園でも規定に基づいて昼食後帰宅という対応をとらせていただきました。

利用者の方を送り届けた後、普段手が回らないところを掃除したり、書類整理や作業の段取りをしたりしていたところ、どんどん風が強くなり雪が舞い始めたと思ったら、あっという間に園庭が白くなりました。

雪を見て喜んだ少年の心を忘れない!?係長。ミニ雪だるまを作っていました。

職員が帰宅する頃には地域によっては路面も凍結するという松山には珍しい日となりました。

翌朝も路面凍結地域があるため1時間遅れでお迎えにあがり、日中活動提供とさせていただきます。



文責： 阿部秀人・小松宴江



駄菓子屋さんがやってきた♪

1月27日金曜日、つくし園の園庭に駄菓子屋さんがやってきました。

これは感染症予防のために外出活動を控えているなか、財布を持って買い物をすることがなくなってしまうことに気が付き、久米窪田町にある「駄菓子屋ヤスナガ」さんが移動販売しているということでお願いしたものです。

この週は10年に一度の大寒波が来ると報じられ、園庭での行事ということで心配していましたが、午前中降っていた雨も上がり、前日、前々日の最強寒波に比べると寒いながらもカーポートの下に店開きして買い物ができような状況になりひと安心。

買い物を楽しんでいただくことができました。



昼休みが終わると、それぞれに財布を持って買い物です。突然園庭に現れた駄菓子屋さんにびっくり嬉しそうな利用者の方たち。

小さな買い物カゴを手にとった駄菓子を楽しそうに見て回りました。「これ小さい時に食べたんよ。」「このお菓子懐かしい〜。」「これいくらする?」「これとこれどっちにしようか?」と、話も弾みながら品定め。

少数精鋭のラインナップで終える方。あれもこれとかごに入れ、持参したお金が足りずどれを減らそうかと悩む方。それぞれの個性がでる買い物ぶりでした。

利用者の方々だけでなく、支援者も前日職員室で駄菓子の話題で盛り上がり、世代によって知らないお菓子があったりして、今日の駄菓子屋でそれを見つけ「これよこれ。食べてみて〜。」と若手に勧めたり、大人買いしたりと楽しみました。



それぞれ好みのお菓子を買って部屋に戻ったら、飲み物も選んで飲みつつのんびりと過ごしました。

そこでも話が弾み、「これ持って帰ってお兄ちゃんのおつまみにあげるんよ。」「どうやって食べたらいいん?」「あめ、あまいね〜」と、笑顔のみなさん。

少しの時間ではありましたが、楽しい時間となった様子です。これからも皆さんに楽しんでいただける行事を企画していきたいと思います。